

Contents

第5土曜特集

がん医療の最前線 臨床と研究の共創

681	はじめに——次世代のがん医療の開発に向けて	松浦成昭
-----	-----------------------	------

予防・検診

685	がん予防	石川秀樹
690	バイオマーカーを用いた肺がん検診の可能性	本田一文
696	遺伝性腫瘍におけるがん予防	岡 知美・中島 健

がんの診断

703	がんゲノム医療を支える形態診断——形態と遺伝子をつなぐ	大江知里・他
707	ゲノム病理診断	金井弥栄
715	AIを用いた病理診断	坂下信悟・石川俊平
721	画像診断——PET分子イメージングの進歩と新たな方向性	久下裕司
727	消化管がんの内視鏡診断AI	石原 立
731	遺伝子診断OSNA法	松浦成昭
735	がんゲノム医療	角南久仁子
741	エピゲノム研究の臨床応用	山田晴美・他
747	リキッドバイオプシーの進歩	中村能章

がんの治療

755	手術——ロボット手術	大森 健・他
761	核医学セラノスティクス——現状と今後の展開	渡部直史
766	重粒子線治療の臨床的意義と現状 ——高LET放射線治療としての位置づけ	鈴木 修・鎌田 正
771	ホウ素中性子捕捉療法 (BNCT)	小野公二
776	オルガノイド研究の薬物治療への応用	三吉範克
780	肺がん分子標的治療の進歩——EGFR, HER2, KRAS	林 秀敏
786	乳癌薬物療法の進化と個別化の最前線 ——分子標的治療によるパラダイムシフト	石井 慧・増田慎三
791	大腸がんの分子標的治療	三島沙織



- 795 前立腺がんに対する分子標的療法(免疫療法を含む)の現状と展望 木村高弘
799 血管新生阻害治療の歴史と展望 田中俊英
807 がん免疫治療総論——がんを制御する持続型T細胞免疫システム 各務 博
811 PD-1は“何に”対する免疫応答を抑制しているのか 柿本義也・石田靖雅
817 CAR-T細胞療法 坂本謙一・中沢洋三
823 ネオアンチゲンを標的としたがん免疫療法
——個別化ワクチンを中心とした臨床開発の現状と展望 清谷一馬・中村祐輔
828 がんに対するテロメラーゼ特異的腫瘍溶解ウイルス療法 藤原俊義
834 悪性神経膠腫に対する新たな治療モダリティ
——G47Δを用いたウイルス療法 岩井美和子・藤堂具紀
839 乳がんラジオ波焼灼療法——低侵襲治療の現在地と未来 柏木伸一郎
843 腸内細菌研究のがん医療への応用 神谷知憲・大谷直子

がんとの共生

- 853 がん緩和ケア——研究を通して患者ケアを改善する 森 雅紀
858 がん相談支援の現状とこれから——課題の特定と研究・臨床への還元 高山智子
864 がんのリハビリテーション診療 辻 哲也
870 がん医療を支える栄養管理の現状と課題
——栄養治療としての体系的支援の必要性 飯島正平・松岡美緒

がんの医療体制

- 878 日本のがん登録 宮代 勲
884 2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化 北國大樹
892 医療の場での人工知能——効率の向上, 公平性の確保, そして共感の回復 中村祐輔
897 次号の特集予告